

今週の株式相場見通し

- * 日経平均 36,000~39,000円 TOPIX 2,500~2,700
- * 期待材料 米大型ハイテク企業の好決算 グローバル製造業の業績改善 半導体設備投資の増加
- * 不安材料 米金利の高止まり 中東の地政学リスクの高まり 国内長期金利の上昇

【米金利上昇が逆風に】先週の日経平均は月曜から水曜の3日間で1,500円近い下落となり、38,000円を割り込んだ。下落した要因は大きく分けて2つある。一つは、米国金利の上昇だ。4月に発表された米経済指標は、インフレの粘着性と消費の底堅さを示唆した。これを受け、米国の金利引き下げ時期が後退するとの見通しが強まり、米長期金利が上昇。相対的に株式の割高感が強まり、日米ともに株式市場へは逆風となった。日本株市場は外国人の保有比率が3割を超えており、売買シェアも高いことから欧米の金利の影響を受けやすい面がある。

【地政学リスクから資金が逆流】もう一つは、中東の地政学リスクの高まりだ。昨年イスラム組織ハマスがイスラエルを急襲したことに関連し、今年4月1日にイスラエルがシリアのイラン大使館を空爆しイラン革命防衛隊の将官らが死亡した。イランはこの報復攻撃として13日にイスラエルに向けてドローンや弾道ミサイルを発射した。大半はイスラエルにより迎撃されたものの、前例のない直接攻撃を受けたことから、再度、イスラエルが攻撃に踏み切れば報復合戦へと発展することが危惧されている。地政学リスクの高まりを受け、リスク資産である株式市場から資金が流出、金価格が市場最高値を連日更新するなど安全資産への逃避の動きとなった。

【個別株に注目】全体は海外発の下押し要因を受けたが、これから本格化する3月期企業の決算発表を前にヒントとなる個別株の動きもあった。内需では食品スーパーのベルク、ドラッグストアの薬王堂HDなどローコストオペレーションによる価格競争力を強みとしている小売が業績好調で買われるなどインフレを背景とした生活防衛関連が注目される。一方で、外需ではウエハ搬送システムのローツェやイメージセンサー検査装置のインターアクションなど、円安を背景にグローバル製造業の好業績銘柄も買われた。外部環境を踏まえると全体的大幅上昇は期待しづらいが、業績好調の個別企業をピックアップしていきたい。(4月18日現在、志田 憲太郎)

今週の予定

	国内	海外
4/22 (月)	決算：オービーシステム(5576)、ヤマナカ(8190)	[中] 中国人民銀行がLPR発表 [オランダ] 世界エネルギー会議(～25日)
23 (火)	4月製造業PMI速報値(9:30) 決算：ニデック(6594)、KOA(6999)、シマノ(7309)など	[欧] 4月製造業PMI速報値(17:00) [米] 3月新築住宅販売件数(23:00) 決算：テスラ
24 (水)	3月企業向けサービス価格指数(8:50) 決算：キヤノン(7751)など	[米] 3月耐久財受注(21:30) 決算：メタ・プラットフォームズ
25 (木)	日銀金融政策決定会合(～26日) 決算：信越化学(4063)ディスコ(6146)、ルネサスエレ(6723)など	[米] 1-3月期GDP速報値(21:30) 決算：アルファベット、インテル、キャタピラー、マイクロソフト
26 (金)	4月東京都区部CPI(8:30)	[米] 3月PCEコア価格指数(21:30)
27 (土)	婦人警官記念日	[トーゴ] 独立記念日
28 (日)	衆院東京15区、島根1区、長崎3区補欠選挙投票	[伊] G7気候・エネルギー・環境相会合(～30日)
29 (月)	昭和の日	[独] 4月消費者物価指数速報値(21:00)

出所はロイター、ブルームバーグ、新聞各紙等より、時刻は日本時間(予定)

本資料のご利用にあたり、お客様にご確認いただきたい事項を、本資料の最終ページに記載させていただきました。ご確認の程、宜しくお願い致します。

今週の参考銘柄 安川電機 (6506) 東証プライム



23年2月期 (百万円)		前年比	24年2月期 (百万円)		前年比	25年2月期(予) (百万円)		前年比	株価(4/18)	6,096 円
売上収益	555,955	16.0%	575,658	3.5%	580,000	0.8%	業種	電気機器		
営業利益	68,301	29.2%	66,225	-3.0%	70,000	5.7%	時価総額	16,257 億円		
税引前利益	71,134	28.5%	69,078	-2.9%	74,000	7.1%	PER(予想)	29.50 倍		
当期純利益	51,783	35.0%	50,687	-2.1%	54,000	6.5%	PBR(実績)	3.99 倍		
EPS(円)	198.07		193.87		206.59		ROE(実績)	13.57 %		
配当金(円)	64		64		68		配当利回り(予想)	1.11 %		
							担当	松本 直志		

出所: 業績に関する数値は決算短信より

【世界的モータ、ロボット企業】 ロボットや半導体製造装置などに使われるACサーボモータの他、産業機械やビル空調、シェールオイル掘削設備などでモータを制御するインバータなどのモーションコントロール事業、自動車の溶接、塗装や半導体搬送用などのロボット事業、鉄鋼プラント用電機システム、太陽光発電用パワーコンディショナなどのシステムエンジニアリング事業を展開。24年2月期の売上高構成比率はモーションコントロール事業45.2%、ロボット事業40.8%、システムエンジニアリング事業9.6%、その他4.4%。

【過去最高の売上を更新】 24年2月期通期決算は前年同期比3.5%増収、3.0%営業減益。ロボットやインバータ、太陽光発電用パワーコンディショナなどが伸びて売上は過去最高を更新した。ロボットは人件費高騰、労働力不足に伴う自動化投資が追い風となり、インバータは米国のシェールガス、アセアン、インドにおけるインフラ向けが拡大。一方、半導体・電子部品向けACサーボモータが苦戦したことや中国の設備投資減少、労務費などの増加、遊休不動産の売却益の剥落などで減益となった。四半期受注では4Q(12-2月)受注が1,101億円となり、3Q(9-11月)の1,283億円や前年4Qの1,266億円を下回り欧米中心に低調となったが、中国は5四半期ぶりに前年同期比小幅増に転換し、ACサーボモータも半導体や米中などで底打ち感が出ている。

【中長期的な業績拡大を期待】 今期は前年同期比0.8%増収、5.7%営業増益計画。半導体・電子部品市場の投資再開や、製造業の自動化投資に伴うロボット事業の拡大がけん引する見込み。1Q(3-5月)で1,300億円(昨年1Qは1,372億円)を超える受注獲得を想定しているが、3月はACサーボモータ、ロボット、インバータいずれも計画を上回るペースで推移し順調なスタートになった。半導体向けACサーボモータは今期から回復局面入りし、26年に向けて大きく拡大する見通し。AIやセンサを活用した自律型ロボットによる自動化需要の掘り起こし、インバータは新興国のインフラ需要増が見込まれ、中長期的な業績成長を期待したい。

説明会より

銘柄 (コード) 市場 株価(4/18)	コメント
コシダカ HD (2157) 東証プライム 934 円	首都圏中心に「カラオケまねきねこ」を展開。24年8月期2Q累計(9-2月)決算は前年同期比19.4%増収、37.1%営業増益。2Q累計のカラオケ事業の既存店売上が前年同期比12.7%増と好調に推移したことに加え、自動精算機やアプリ予約システム、自動シフト作成システム導入など生産性向上施策も奏功し、2Q(12-2月)のカラオケ事業は売上、利益ともに過去最高を更新した。近畿エリア8店など駅前中心に計28店を出店。手薄な近畿地区への出店余地はまだ大きく、カラオケ事業の成長継続が期待される。(松本 直志)
WACUL (4173) 東証グロース 478 円	データ分析によるマーケティングソフト「AIアナリスト」が主力商品。24年2月期通期決算は34.7%増収、7.3%営業増益。4Q(12-2月)は、人材事業で先行投資を実施したが、売上が四半期ベースで過去最高を更新したことで、EBITDA、営業利益ともに3Q(9-11月)から一転、成長となり四半期ベースで過去最高を更新した。今期は22.9%増収、1.6%営業増益の計画。サイトの作成など売上が大きい一方で、利益率が低い事業の割合が増加する。(志田 憲太郎)
富士フィルム HD (4901) 東証プライム 3,343 円	中期経営計画を発表。2023年度を最終年度とした前中期経営計画では、売上・営業利益の目標を1年前倒しで達成した。新中計では、31年3月期に売上4兆円、営業利益率15%以上を目標に挙げた。27年3月期まではバイオCDMOと半導体材料に積極投資を実施し、28年3月期以降にそのリターンを創出し営業利益率15%を目指す。財務戦略は3年間の成長投資を1.9兆円として成長事業に集中投資する。(志田 憲太郎)
ローツェ (6323) 東証プライム 27,870 円	半導体ウエハ搬送装置を展開。24年2月期通期決算は前年同期比1.3%減収、8.6%営業減益となったが、中国や米国などで半導体設備投資が持ち直し、会社計画を上回って着地。中国の半導体国産化投資がけん引し4Q(12-2月)売上は過去最高を更新した。今期は前年同期比29.5%増収、31.0%営業増益計画。中国の投資拡大が続くことに加え、AI向け半導体や次世代パッケージの投資増も追い風となり、搬送装置に対する需要が続く見込み。(松本 直志)
薬王堂 HD (7679) 東証プライム 2,807 円	東北地盤のEDLP(常時低価格販売)型のドラッグストア。24年2月期通期決算は前年同期比10.4%増収、11.8%営業増益。インフレ下でEDLPへの顧客支持が拡大しており、既存店売上高は8.5%増と好調に推移。今期は既存店売上高5.1%増を前提に、7.0%増収、9.4%営業増益を計画。同社は粗利益率の前提には下振れリスクがあるとし、また、販管費率は電気代、出店コストなどの増加で前年同期比0.2ポイントの悪化を前提としているが、既存店の計画上振れによって、利益計画の達成に自信を示した。(多功 毅)
ベルク (9974) 東証プライム 7,700 円	埼玉県地盤にEDLP型の食品スーパーを約130店展開。24年2月期通期決算は前年同期比13.2%増収、3.4%営業増益。利益計画対比では3Qまでの業績が好調に推移していたこと及び、新年度のリピート客獲得と買い上げ点数の増加を狙い1、2月に積極的な販促や店舗改装コストをかけたことにより下ブレ着地。今期は年初の販促効果が想定通り出たことを踏まえて既存店を2.7%増としたうえで、PB強化による粗利確保などを想定し、7.1%増収、20.8%営業増益を計画。(多功 毅)

本資料のご利用にあたり、お客様にご確認いただきたい事項を、本資料の最終ページに記載させていただきました。ご確認の程、宜しくお願い致します。

いつもあなたのそばで 頼れる金融機関です

やまわ

■ ■ ■ 山和証券店舗網 ■ ■ ■

本店営業部	(03) 3668-5412	〒103-0026	中央区日本橋兜町 1-8
金町支店	(03) 3600-6681	〒125-0041	葛飾区東金町 1-22-9
高円寺支店	(03) 3311-1171	〒166-0003	杉並区高円寺南 3-58-25
大岡山支店	(03) 5754-5523	〒145-0062	大田区北千束 3-28-1 パークホームズ大岡山ラヴィアンコート 1F
巢鴨支店	(03) 3918-6311	〒170-0002	豊島区巢鴨 3-33-2
上板橋支店	(03) 3935-0311	〒174-0071	板橋区常盤台 4-22-12
深川支店	(03) 5600-7891	〒135-0005	江東区高橋 11-1
茂原支店	(0475) 25-1151	〒297-0023	茂原市千代田町 1-6 茂原サンヴェルプラザ 1F



○金融商品取引法に基づく表示事項

◇商号：山和証券株式会社 金融商品取引業者：関東財務局長(金商)第190号
加入協会：日本証券業協会

◇ご投資にかかる手数料の概要およびリスクについて

- ・国内上場株式等を購入する場合は、約定代金に対して最大1.1990% (ただし約定代金230,000円以下の場合は最大2,750円)の委託手数料をいただきます。
- ・国内上場株式等は、価格の変動等により損失が生じるおそれがあります。また、発行会社の信用状況の悪化等により投資元本を割り込むおそれがあります。商品ごとに手数料等及びリスクは異なりますので当該商品の契約締結前交付書面をよくお読みください。

○山和証券免責事項

- ・本アナリストレポートは、投資の参考となる情報提供を目的としたものであり、特定の有価証券の売買あるいは特定の証券取引の勧誘を目的としたものではありません。投資の最終決定は投資家ご自身の判断と責任でおねがいします。
- ・本アナリストレポートの全部もしくは一部を引用または複製、転送等により使用することを禁じます。

発行 山和証券調査室